

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 1 日 (2012.3.1)

【公表番号】特表 2011-509852 (P2011-509852A)

【公表日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2011-013

【出願番号】特願 2010-543193 (P2010-543193)

【国際特許分類】

B 4 2 F 21/02 (2006.01)

B 4 2 F 21/04 (2006.01)

B 4 2 F 7/00 (2006.01)

【F I】

B 4 2 F 21/02 B

B 4 2 F 21/04 B

B 4 2 F 7/00 H

B 4 2 F 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

綴じ込み装置において、

タブ保持具を含んだ第 1 のカバーパネルであって、前記タブ保持具は折り重なりと空所を形成する前記パネルの固定された縁部とを含み、前記縁部は前記縁部を通して前記空所まで延びるタブ開口部を有し、前記第 1 のカバーパネルは第 1 の側から前記第 1 のカバーパネルの反対側に配置されたカバーヒンジまで延びる、第 1 のカバーパネルと、

第 2 のカバーパネルであって、前記第 1 のカバーパネルと前記第 2 のカバーパネルとが共にフォルダを形成するように、前記カバーヒンジで回転可能に前記第 1 のカバーパネルに接続された、第 2 のカバーパネルと、

表示部及び取付部を有する格納可能なタブであって、前記取付部は前記空所中に取り付けられ、前記タブは、前記表示部が実質的に前記空所中に配置される格納位置と、前記表示部が前記空所から前記タブ開口部を通して延び、前記取付部が前記タブ保持具から解放されないように保持するために前記タブ保持具が前記取付部と関連付けられた延長位置との間を移動可能な、格納可能なタブとを含み、

前記表示部の底部は、少なくとも弾性的に変形可能な突出部と、前記格納可能なタブが格納位置と延長位置との間をスライド移動するときに、前記格納可能なタブと前記タブ開口部とが共に少なくとも 1 つの前記突出部を弾性的に変形させるように、横方向に前記タブ開口部の幅よりも大きな幅とを含む、綴じ込み装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、

前記タブ保持具は、前記表示部を前記格納位置に保持するように構成され、前記格納位置では、前記格納可能なタブの上縁部が、前記第 1 のパネルの前記第 1 の縁部と実質的に面一にまたは前記第 1 の縁部の実質的に下方にある、装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の装置において、

前記取付部は、前記タブが前記タブ保持具から取り外されるのを防止するために前記タブ開口部より幅広い、装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項 に記載の装置において、

前記表示部は、前記延長位置と前記格納位置との間の移動に抵抗するように、前記第 1 のパネルに対して面外に曲げるための前記取付部に対して面外に弾性的に付勢された、装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の装置において、

前記タブは、1 つまたは複数の補強部材を備え、前記補強部材は、前記延長位置において前記タブを前記第 1 のパネルに対して面外に曲げるために、前記タブに屈曲部を弾性的に維持するように構成された、装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の装置において、

前記格納可能なタブは、前記第 1 の縁部に沿った所望の位置で前記表示部のうち少なくとも 1 つを選択的に延ばすための、前記タブ保持具と関連付けられた複数の格納可能なタブを備えた、装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の装置を複数備えた、綴じ込みシステムにおいて、

前記装置のうち異なる装置は、前記綴じ込みシステムを整理するために、前記装置の第 1 のパネルの第 1 の縁部に沿って異なる位置に前記延長位置の前記タブを選択的に有することができる、綴じ込みシステム。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の装置において、

前記タブは、前記タブを前記格納位置及び延長位置に保持するように前記タブ保持具と可逆的に係合するロック部材を備えた、装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の装置において、

前記表示部は、前記タブを前記延長位置及び前記格納位置に保持するための前記ロック部材を設けるために、前記第 1 の縁部に沿って測定した横方向が前記タブ開口部より幅広い、装置。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の装置において、

前記タブは、前記タブが前記延長位置にあるときに、前記開口部における前記タブ保持具の横方向の縁部を受容する、前記突出部と前記取付部との間に切り込みを画定する、装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項 に記載の装置において、

前記ロック部材は、前記タブが前記延長位置と前記格納位置との間を移動するときに、適位置に触覚的にスナップ嵌めするように、前記タブ保持具と動作可能に関連する、装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか一項に記載の装置において、

前記タブは、ラベルを間に受容するように縁部に沿ってそれ自体に折り重ねられた、2 つの層の材料を含む、装置。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれか一項 に記載の装置において、

前記縁部は、前記第 1 のカバーパネルの縁部を画定する折り目が設けられるように折り畳まれ、前記折り目に沿って前記タブ開口部が設けられた、装置。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の装置において、

前記綴じ込み装置はハンギングファイルであり、前記ハンギングファイルはさらに、フック状の端部を有するハンギングバーであって、前記タブ保持具及び第 1 のカバーパネルにわたって延びる前記空所内に配置され、前記フック状の端部は、前記第 1 のパネルの前記空所の外に突出する、ハンギングバーを備えた、装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

タブ 150 はさらに、タブ 150 が延長位置にあるときに開口部 102 でタブ保持具 90 の横方向の縁部を受容するために、突出部 162、164 と取付部 154 との間で表示部 152 の両側に切り込み 166、168 を含むことができる。したがって、それらの切り込み 166、168 はさらに、延長位置と格納位置との間でタブ 150 を把持及び移動するのを容易にする。切り込み 166、168 は、任意のタブ構成を構成することができ、図 5 のタブ 150 など、タブが横方向の突出部を有することが特に有利である。図 5 のタブ保持具 90 は、タブ保持具 90 の両側部から突出しているハンガーバー 85 も備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

